

会 議 録（抄）

	第 16 回 唐津市子ども・子育て会議
開催日時	令和 6 年 6 月 2 7 日（木） 10：00～11：40
開催場所	唐津市役所 6 階 第 4 委員会室
出席者	山口委員（会長）、小宮委員、齊藤委員、中村委員、谷口委員、 鈴木委員、岸本委員、石田委員 8 名出席 ※順不同
議題	（１）各種調査結果報告について （２）第 3 期計画策定にかかる現状と課題の把握について （３）計画骨子案についての審議 （４）今後のスケジュールについて
資料	資料 1：調査結果報告 資料 2：第 3 期計画策定にかかる現状と課題の把握 資料 3：計画骨子案 資料 4：今後のスケジュール

会 議 内 容
10:00 開会 ＜資料の確認＞ ＜あいさつ＞ （保健福祉部長）今回新たに 6 名の方に委員就任をお引き受けいただき、心より感謝申し上げます。今年度の子ども・子育て会議では、令和 7 年度以降の 5 年間を対象とした第 3 期計画策定に向け、今回を含め 4 回程度の会議開催を予定しています。「子どもを生み育てやすいまちづくり」の実現と、市の子どもと子育て世代への支援をさらに充実させていくために、委員の皆様には、忌憚のないご意見をいただき、次期計画がより良いものとなるよう、ご協力よろしくお願いします。 ＜会議成立の報告＞ （事務局）唐津市子ども・子育て会議条例第 6 条 2 項により、本日は委員 14 名中 8 名の半数以上の出席を得たことから会議成立となる。 ＜会長あいさつ＞ （会 長）唐津市子ども・子育て支援事業計画については、次の計画期間に向けて計画策定に取り組むため、本日は調査結果報告や骨子案についての審議が主なものとなる。 計画を策定するにあたり、委員の皆様の意見が反映されていくため、様々な視点や現場の声としての意見をお聞かせ願いたい。平成 24 年の子ども・子育て支援法に基づいた会議である。5 年ごとの市町村計画、大切な計画であり大切な会議。社会状況も制度も変わっている。子ども若者支援、ヤングケアラーの支援など。制度が変わっても現場で父母の声を聴いている委員の皆様からの声は重要であり、計画に反映できればと思う。質問などは遠慮なくいただきたい。

＜以下、会長の進行＞

●議題１〈各種調査結果報告について〉

●議題２〈第３期計画策定にかかる現状と課題の把握について〉

【※議題１、議題２は併せて説明】

（事務局）

資料１は、小学生保護者 2,000 人、未就学児保護者 2,000 人を対象とした①「子ども・子育てに係るニーズ調査」、市内の小学５年生とその保護者、市内中学２年生とその保護者を対象とした②「こどもの生活アンケート」、こどもの生活アンケート対象学年の教諭等を対象とした③「ヤングケアラー調査」の結果を全て記載しているものである。

資料２は実施した調査の中から、現状と課題をまとめたものであり、株式会社ぎょうせいより解説いただく。

（ぎょうせい）【資料２】の解説

- １．人口構成の推移
- ２．児童人口の推移
- ３．児童人口の将来推計
- ４．アンケート等に見る課題

現状の人口と今後の推移やアンケート結果について、テーマごとに分析したものを解説。

【資料１、２のアンケート結果を受けての意見等】

（会長）重要な報告だったと思う。できればお一人ずつ感想・意見をいただきたい。

（委員）ヤングケアラーという言葉が独り歩きしないよう全体的な捉え方が必要。

（委員）父子家庭への支援が少ないと感じる。相談先、支援を必要としている人へ行政より歩み寄りが必要だと感じる。

（委員）朝食がお菓子という児童も少なくない。親子ともに啓発が必要だと感じる。保護者の状況や意見など聞けて、市に相談できるとよいと思う。

（委員）卒園後の子どもが遊びにくるが、毎日来る子がいて、聞けば母子家庭で母親が家にいないから、ということも。何かのＳＯＳがあるのかも気づけて、卒園してからもなんらかサポートができるといいと思う。

（委員）アンケート結果でも子育てに係る経済的負担の項目があったが、兄弟児が多い世帯ほど負担を感じる傾向もあると思うため、そういった世帯への支援も重要だと感じる。

（委員）アンケートを見て、様々な課題があると感じたが限られた予算内で効果的な支援をしていく必要があるため、改めて支援の難しさを感じた。

（会長）経済状況などで心が苦しくなると、子どもから「どうせ・・・」という言葉が聞くことが多くある。どうすれば、と思いながら日頃支援をしている。大事なものは「愛着」だと思っている。「愛着」は乳幼児から、というが、保護者も不安を抱えており、保護者も子どもも安全安心な基地のようところがどうすればできるかなあ、と非常に強く感じた。もし、後日でもアンケート結果への質問意見などあれば事務局へ。

●議題３ 〈計画骨子案についての審議〉

（事務局）資料３に沿って説明

・第１章

２ 計画策定の趣旨

今回計画より子どもの貧困対策、ヤングケアラー対策を含むものとして策定。

・第２章

４ アンケート等に見る課題

前回はニーズ調査のみの結果をまとめたものであったが、今回はそれに加え、こどもの生活アンケート、ヤングケアラー調査の結果とその課題もまとめることとなる。

5 こどもの意見

今回計画より、市が実施する子育て支援策や子どもにまつわる内容について、唐津市に住む子どもたちに実際に意見徴収を実施予定。

目的としては、こどもの意見を政策や事業へ反映することや、地域や社会への参加機会の提供であり、この項目には意見聴取の結果を掲載。

意見聴取の方法については、座談会方式で直接聴取するものや児童クラブ・こども食堂での聴取、WEBアンケート等が想定されるが、今後方法について検討を進める。

・ 第5章 こどもまんなか社会へ向けての施策

朱書きの内容を盛り込んだものとして、それに対応する市の取り組みを掲載。

・ 第6章 子どもの貧困対策

今回計画より貧困対策に関する事項も定めるため、教育の支援や生活の安定に資するための支援等の市の取り組みについて1章を設けてまとめる予定。

【資料3の計画骨子案についての意見等】

(会 長) 子どもの意見聴取というのはいつごろ、どのような方法で実施する想定か。子どもの意見は大事なので、委員のみなさんから意見やアイデアあれば聞きたい。

(委 員) 放課後児童クラブの待機児童、行きたいのに行けていない子の意見を聞けるとよいが。今定員外の子どもはいる？いない？

(事務局) 利用要件があり、保護者が家にいると申請ができない。申し込んでも行けていない待機児童は市内で40人くらいかと。全体で子どもの数は減っているが、鏡山、浜崎、成和などは子どもが多く、待機が出ている。その子どもたちをどう見ていくか、支援員も含め人員不足であり、民間の事業所もいくつかあって今後やりたいという声もあるので民間の力も借りながら待機児童をなくせるよう取り組んでいる。

(会 長) 骨子案の備考にある「プレコンセプションケア」とは？

(事務局) 妊娠前の支援のことである。

(会 長) 妊娠前の支援は県にもなにかあるようなので県の施策と一緒に考えることが必要と思う。妊娠後や産後のケアは明確にあるが、妊娠前もこれからの課題と感じた。

(会 長) 骨子案の右側備考欄の朱書きのところ、自殺対策とか医療的ケア児とか、市としての今後の方針はどうか。

(事務局) 朱書きのところは、子ども大綱の重要事項を現行の計画に沿って置いたものであり、これから現状の取組の確認・精査を進め、今後の取組などを検討していくことになる。

(会 長) 5章の5にある「家庭教育」という言葉は嬉しい。古くからあった言葉だが、今また重要性が増していると思う。具現化できるとよいと思う。お父さんの居場所やネットワークについて委員さんに伺いたい。

(委 員) 父親が話をする場や、父親同士の接点も非常に少ない。職場で話すことはあるよう。居場所ができるとよいなと思う。

(会 長) 他の市町で父親ネットワークというのをやっているところは聞いた。唐津ではなかなかお父さんの居場所などできていないのかもしれない。少しずつでも進むといいと思う。

(委 員) 本当に必要な方に支援が届いているかが大事。例えば子ども食堂など。また、保護者が「必ずしも学校に行かなくても、家での家族との交流の方が大事」という考えの方もおり、スクールカウンセラーや先生が家庭訪問しても会えないこともあり、保護者の考え方を変えていく支援も重要と思う。

本当にそこに来てもらいたい子育てで困り中の親は出て来ないし、出て来れない。来れない人、来ようと思わない人にどう伝えるか大事と思う。

(会 長) 小学生のみならず乳幼児でも、必要な人へ支援を届けるには、今後アウトリーチの重要性が増す。相談に足を運べない、電話もできない、もしかしたら相談の場そのものを知らない、そういう人に支援がどう届くか、どう届けるか。唐津は市域が広いので地区に分けてでも取り組めるとよい。

(会 長) 女性のためのホットカフェという女性支援の活動、10～70代の交流支援というものをやっているが、先日ある地域で実施した際「待っていた」と言われた。エリアごとで必要な人につなぐ役割の人とか場所が大切と感じた。

(委 員) 支援を受けていることを知られたくないという人もあろう。そこへの配慮も大事と思う。

(会 長) ひとり親家庭への学習支援の活動の人が、関わりのある子どもにそっと声掛けして呼んでくれたりしたこともある。来れない人にどう伝えるかも大事だが、地域の人や地域の人にできる動きには限りがあるとしても、行政と連携しながらどうできるかが大事と思う。

(委 員) 何か地域貢献したいと思っている人へ、子ども食堂などどうかと聞いたら「子ども食堂のような大々的ところや、そこの手伝いをしていることを知られたくもなく、あくまで縁の下で関わりたい」と話していた。そういう人もいる。

(会 長) 先ほどのホットカフェでも、唐津の人で市内の開催には行きにくく、他の場所でのものには行けるという人がいたりもする。

(会 長) 骨子案については今後も検討ということにしたい。

●議題4 〈今後のスケジュールについて〉

(事務局) 資料4に沿って説明

2回目の会議終了後の11月前後を目途にこどもの意見徴収実施予定。それを計画に反映させ3回目の会議で素案の審議、その後委員の皆様のご意見を取り入れた素案を1月より1カ月間パブリックコメントをおこなう予定。パブリックコメントとは、市のHPや窓口に計画案を掲載し、市民の方々に見ていただき意見徴収をおこなうもの。パブリックコメントで出た意見を最終案として4回目の会議で審議いただき計画策定となる。

【資料4の今後のスケジュールについての意見等】

(会 長) こどもの意見聴取については次回会議で検討するということか。

(事務局) そう考えている。

(会 長) こどもの意見徴収の方法について、今後委員の皆さんからもアイデアをいただきたいと思う。また、こどもの対象年齢についてどうお考えか。

(事務局) 意見聴取の方法については、今後の会議の中で委員の皆様のご意見を反映させながら決定していきたい。対象年齢については、高校生または大学生も視野に入れて検討している。

<議事終了>

(会 長) 今後も引き続き、活発な意見交換の場となるようご協力願います。この会議での委員の発言が計画に反映されていくよう、努めていきたいと思います。

(事務局) 本日は長時間にわたり、誠にありがとうございました。

11:40 閉会